

取組事例

(~~新定外労働削減~~・~~年休取得促進~~・多様な正社員・朝型の働き方・テレワーク)

企業名： リコーインダストリー株式会社 東北事業所	所在地：宮城県柴田郡柴田町上名生 神明堂3-1
社員数： 980名	業種：製造業

取組の目的

リコーグループが掲げる「多様な人材が個性・能力を最大限に発揮し、その力を融合することで新たな価値創造ができていく」「仕事・生活の双方の充実により、個々人のやる気・能力の向上が図られ、高い成果が創出されている」という目指す姿のもと、働き方の見直しを実施することで社員一人ひとりの活躍の実現や企業力の向上を図る。

また、D&WLM（ダイバーシティワークライフマネジメント：多様な人材を生かすことができる組織の構築）の継続的な活動により、働きやすい職場環境の醸成を図る。

取組の概要

（1）時間外労働の削減

- ① 週2日の定時退社デー（水・金）を設定し、全社放送により定時退社を促している。設定日に残業を行う場合には、通常の残業申請の他にこの日に残業しなければならない理由書を出させ、定時退社デーの定着を図っている。
- ② 勤務管理をするためのシステムを用いて、残業時間が40時間／月を超えた場合にはアラームメールを本人及び直属の上司に送付している。
- ③ 勤務管理システムと健康管理の仕組みを融合させ、健康チェックや産業医面談に利用している。

◇2016年度には入退管理システムと勤務時間管理システムを連動させ、時間外労働の管理強化をめざす。

（2）年次有給休暇の取得

- ① 時間単位での年次有給休暇取得制度の活用で取得促進を図っている。
- ② 2015年度には『夏の生活スタイル変革』を受けて「連続2日間の年次有給休暇取得推奨」や「全社一斉の年次有給休暇取得奨励デーの設定」など、取得しやすい環境を整え、取得に対する抵抗感をなくす意識付けを実施している。

(3) 多様な働き方を実現するための対応

- ① 育児フレックス制度の導入
- ② 男性の育児休暇推奨
- ③ 永年勤続者の特別休暇制度
- ④ 職場環境の醸成や知識・認識の拡充を図る取組み。(具体的な取組例は、次の現状とこれまでの効果欄に記載。)

現状とこれまでの取組の効果

(1) 年間総時間外労働時間

○2015年は、100,999時間 (前年より20,026時間減少)

(2) 年次有給休暇の取得率

○2015年は、71% (前年より9ポイント増加)

○連続2日間の年次有給休暇取得率 72.2%

(3) 多様な働き方を実現するための対応

○育児フレックスタイム制の利用者 4名 (2016年1月現在)

○男性の育児休暇取得者数 1名 (2014年)

○職場環境の醸成や知識・認識の拡充を図る取組み

- ・こども見学会：社員の家族の職場理解を深めるため親子で参加頂いている。午前中に職場体験や見学会を開催し、午後には一緒に帰宅し家族の時間を作っている。
- ・ステップアップ研修：女性社員とその上司を対象とした女性活躍促進の観点で、研修会を実施している。